



乳がん患者会を開催しました

2022年7月9日、約2年半ぶりに乳がん患者会を開催することができました！

前半はがん化学療法認定看護師 松山しま子さんより、脱毛時の具体的なケアやケアの物品、爪障害についての『乳がん化学療法を受ける方のアピアランスケアについて』の医療講演を行いました。

後半は対面グループトークは感染予防面から中止し、乳がんなんでもトークとして、医療のちょっとした質問や聞いてみたいことなどを医療者や先輩患者からお答えいただく、質問コーナーを行いました。「自分だけじゃないと思えた」等の感想を頂き、非常に有意義な会になりました。



令和4年9月 No.180

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



～ 専門・認定看護師のご紹介 ～

がん性疼痛看護認定看護師
野田 順子

大切にしていること
一期一会



認定看護師を目指したきっかけ

ペーパークラフト作りが趣味である患者さんに会い、その患者さんの目標に多職種で向き合うことがありました。その人の痛みが緩和できたことで、自分らしく生きていく方法をみつけ、イキイキと過ごす姿に感銘を受けたことがきっかけです。

お仕事紹介

緩和ケア病棟に勤務しています。がんと診断されたその時から沢山の不安や痛み、それに伴う精神的苦痛などに悩んでいる方がいます。それは、家族も同じ。その方々ががんの陰に隠れず一人の人間としての喜びを、共に見つけたいと考えています。そのために、痛みやその他の苦痛な症状から少しでも解放されるよう日々患者さんと関わっています。

医療関係者の皆様へ

横のつながり、見えるケアを目標に、安心して自宅に帰る患者さんを応援したいと考えています。緩和ケア病棟では、地域医療関係者の皆様と連携していくため、地域医療連携会『架け橋』を開催し、在宅で難渋したことや病院で困ったこと等を含め話し合う機会を設けています。在宅チームと病院が今後も共に手を取り合い、患者さんを支えていきたいと考えています。

お知らせ

令和4年度 第3回 和泉市立総合医療センター クリニカルカンファレンスの開催

Web
開催

日時：2022年9月22日（木）17：30～18：30

- 『抗PD-1抗体投与中に自己免疫性膵炎と糖尿病を発症した1例』
和泉市立総合医療センター 内分泌・糖尿病内科 部長 田中 陽一
- 『卵巣癌の薬物治療（主にPARP阻害剤について）』
和泉市立総合医療センター 婦人科 松原 裕明



参加方法については別紙ご参照ください。

9月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



地域連携センター
予約受付時間

和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9：00～19：00まで

土曜日 9：00～13：00まで
（但し祝日・年末年始の休日は除く）

TEL:0725-41-3150（直通）

FAX:0725-41-2513（直通）





脳神経内科からのご案内

皆様こんにちは。この原稿を書いている時点では、新型コロナウイルス感染症の第7波が到来し当院も緊張感に包まれながらの診療体制となっています。この地域連携センター便りが皆様の元に届く頃には新型コロナウイルス感染症が終息に向かっている時期であることを切実に願いながら文面を書いております。

脳神経内科は常勤医3人、非常勤医6人で地域の髄膜脳炎や痙攣性疾患などの緊急を要する疾患、多発性硬化症や重症筋無力症、ギラン・バレー症候群などの免疫性神経疾患、パーキンソン病などの神経難病の診断、治療などに対応しております。さらに当科の特徴としましてはパーキンソン病における経腸Lドパ持続療法(デュオドーパ®)にも力を入れており、神経難病におけるロボットスーツHAL®を用いたりハビリテーションや、脳卒中後の上下肢痙縮、眼瞼痙攣、片側顔面痙攣、痙性斜頸などのジストニア疾患に

おけるボツリヌス療法にも対応しております。

昨今、泉州地域においては脳神経内科での入院可能施設は非常に少ない状況が続いています。そのため地域連携を一層強化していく事が重要であり、泉州地域の中核病院や開業医の先生からの紹介はもちろんのこと、在宅医療との医療連携や介護連携など各スペシャリストと連携をとり、泉州地域における神経疾患の中核施設として頑張っていきたいと考えています。在宅神経難病における胃瘻造設や気管切開、人工呼吸器の導入を含め、緊急入院にも対応しておりますので、緊急を要する場合はもちろんですが、神経疾患が否定できない場合や治療目的などありましたら脳神経内科まで紹介のほどよろしく願いいたします。

脳神経内科 部長 濱田 征宏



和泉市立総合医療センター
脳神経内科 部長 濱田 征宏 (はまだ ゆきひろ)

〈資格〉
医学博士 / 日本内科学会認定内科医
日本神経学会神経内科専門医・指導医
日本頭痛学会専門医・評議員 / 難病指定医

外来担当医表

※初診・再診すべて完全予約制です。
※☆は女性です。

午前	月	火	水	木	金	土
	濱田 (ボツリヌス外来)	濱田 (初診)	上野 (再診)	上野 (初診)	濱田 (再診)	河合 (再診/午前 第1,3,5週のみ)
	上野 (ボツリヌス外来)	三浦 (再診/第1,3週)	濱田 (初診・再診)	平井 (初診・再診)	河合 (初診・再診)	
	山名 (ボツリヌス外来)	阪本 (再診/第2,4週)	☆山下 (初診・再診)	山名 (再診)		
	山名 (初診)					

対象疾患

下記の脳、脊髄、末梢神経、筋肉などに関する疾患を専門としています。

疾患	
急性期疾患	： 痙攣、髄膜炎、脳炎、ギラン・バレー症候群など
神経変性疾患	： パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症など
神経免疫性疾患	： 多発性硬化症、重症筋無力症など
機能性疾患	： 片頭痛、群発頭痛、てんかん、神経痛など
脳血管障害の内科治療	
脳梗塞後、痙性斜頸、眼瞼痙攣、顔面痙攣などにおけるボツリヌス療法	



医療用HAL®について



当院では、世界初の治療用ロボットHAL®医療用下肢タイプを導入しています。

医療用HAL®の治療の対象になる方

●神経難病で、下記の診断がなされている方は、健康保険で治療が受けられます。

- | | |
|------------------|-----------|
| ①脊髄性筋萎縮症 | ⑤遠位型ミオパチー |
| ②球脊髄性筋萎縮症 | ⑥封入体筋炎 |
| ③筋萎縮性側索硬化症 | ⑦先天性ミオパチー |
| ④シャルコー・マリー・トゥース病 | ⑧筋ジストロフィー |



※HAL®の治療には条件があります。下肢障害による歩行障害があり、HAL®の装着が可能な体形の方です。寝たきり状態などの重度の障害や呼吸困難が強い方などの場合、使用できない場合があります。診察にてHAL®治療の可否について判断いたします。

治療の流れ

1. HAL®治療を希望される方は、地域連携センターへ診察予約をお願いします。
2. 脳神経内科診察にて、HAL®治療の適否、治療の可能性などについて診察を行い、患者様の希望を聞きながら相談、説明いたします。
3. 神経難病でHAL®治療の場合には、入院あるいは外来通院での治療が可能です。通常、入院でのHAL®治療で治療効果を判断します。また外来通院でもHAL®治療可能です。

難病相談支援センター開設のご案内

無料

予約
優先

秘密
厳守

当院では、療養上の困りごと、就労に関すること、病気のことなど難病に関するさまざまな相談をお受けする、難病相談支援センターを開設しました。

相談窓口：2階 難病相談支援センター
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後4時

